

きのこ四方山話

下野市自然に親しむ会 2024年4月21日(日)

株式会社北研 相談役 川嶋健市 日光 マスタケ

きのこ狩りとの出会い

5歳頃、朝起きると父親の採取してきたきのこがあった

中学生のとき、日本菌類図鑑を買った

18歳のとき、会社の人たちを連れてきのこ狩り

22歳で山形大学入学。マイタケの人工栽培研究

26歳で北研産業(株)に入社。研究員～

きのこ写真家伊沢氏・きのこ料理研究家内田氏との出会い

「キノコの本」・「茨城のきのこ」・「キノコ狩りガイドブック」など共著、
「日本のきのこ」編集、「食べられる山野草」、「食べる園芸」等執筆
追跡-東京きのこ探検隊長、野田川町ふるさとの幸探検隊長等
日光大谷川公園・みかも山公園きのこ観察会講師等

現在(株)北研・相談役。とちぎ環境みどり推進機構・監事等

椎茸の食育活動紹介H22年～現在～未来

食育授業の実践

「きのこ」を学ぶ

まず「きのこ」の生態や「菌を食べる」必要性、自然の食べ物全体の話。そして、この食育の主役である「きのこ」について楽しいクイズや説明で学びます。

食育授業の様子、自然観察、キノコ作り、食育イベントの様子などが紹介されています。

きのこクイズ

正解だと思う番号を選んでね

第1問 このきのこは何でしょう？
味噌汁や鍋によく入ってるよ。

① シイタケ ② エノキタケ
③ ナメコ ④ ブナシメジ

HOKKEN きのこの北研の食育活動

体験の場を提供し「買てる喜び」「食べる喜び」を伝えたい

自然と笑顔があふれます

北研の食育の考え方

現代、食材がどのように流通、収穫されるか、手へ上がってくるのか、大人でさえよく知らないものです。私たちの食育活動では、当社で製造している「しいたけの健康」を材料に、「しいたけ」の知識を伝え、栽培の体験、及び収穫をして、食べていただきます。これにより、育てる喜び、また食べる喜びへつながっていくことを目指しています。

「しいたけ」は、厚が出る成長まで期間が長く、意外と楽しく栽培出来るものです。どんどん大きくなる「しいたけ」をみて、すこもたちは嬉し、育てる楽しさを感じることで、しめ、もちろん、それは先生や教員さん達にも伝わることでしょ。

1.いろいろな色のきのこ



タマゴタケ



アカヤマタケ



アンズタケ



ワカクサタケ

ソライロタケ(ニュージーランド)





ウラムラサキ



オオイチョウタケ



ヒトヨタケ(食・毒)



ヌメリイグチ

2.変わった形のきのこ

クロラッパタケ





ツヤウチワタケ



ヒトクチタケ(みかも山)




ヘラタケ
(子囊菌類)



スジチャダイゴケ



エリマキツチグリ



キノガサタケ(食)



カゴタケ



カニノツメ



↑ イカタケの栽培

⇐アカヒトデタケの栽培

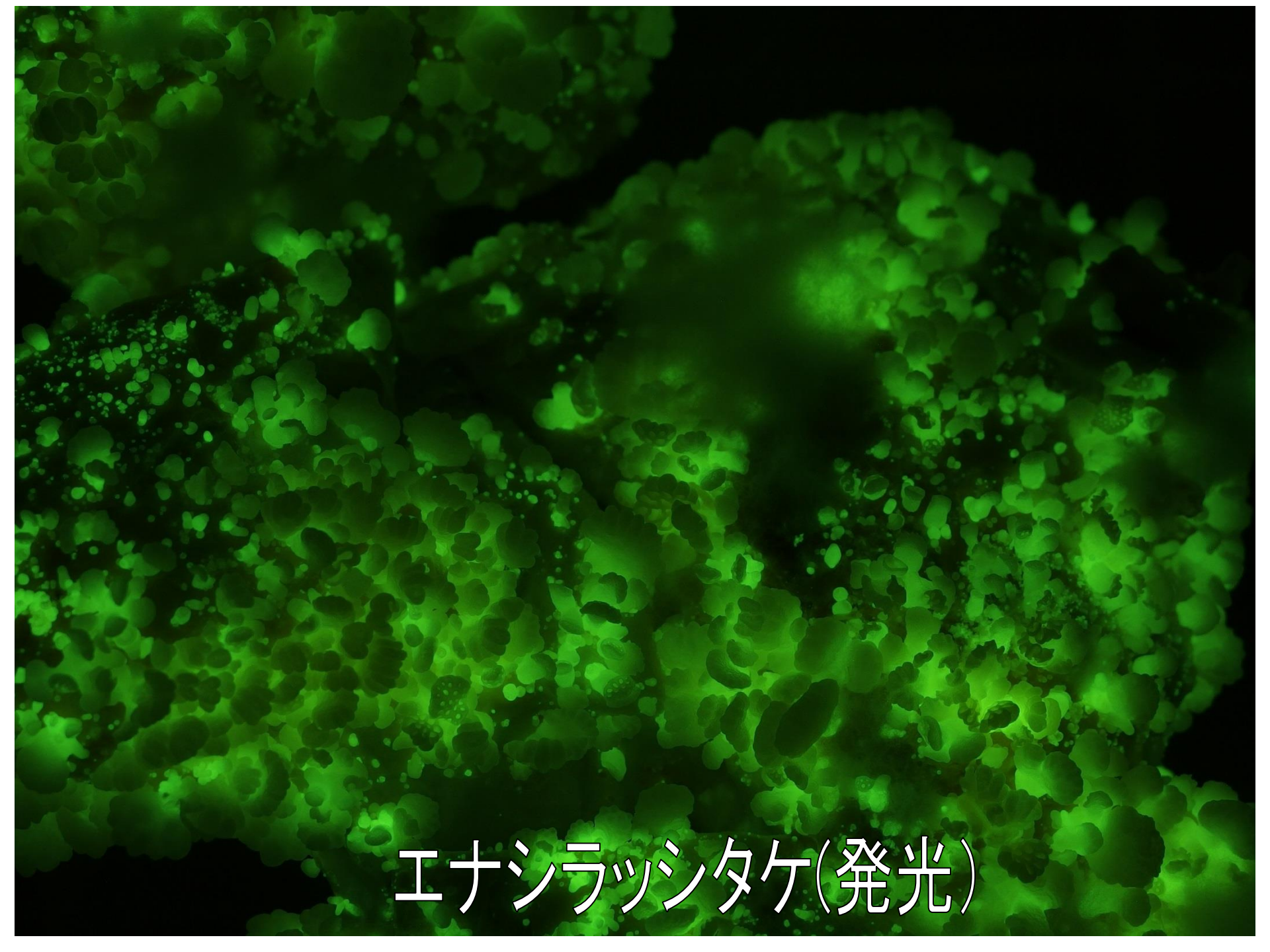


ミミブサタケ

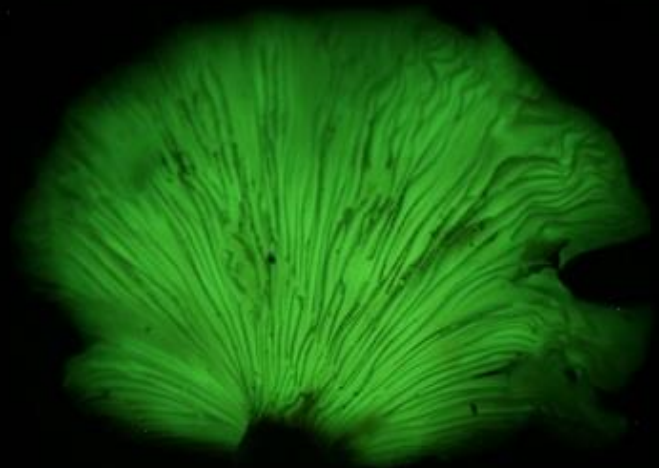
3.光るきのこ



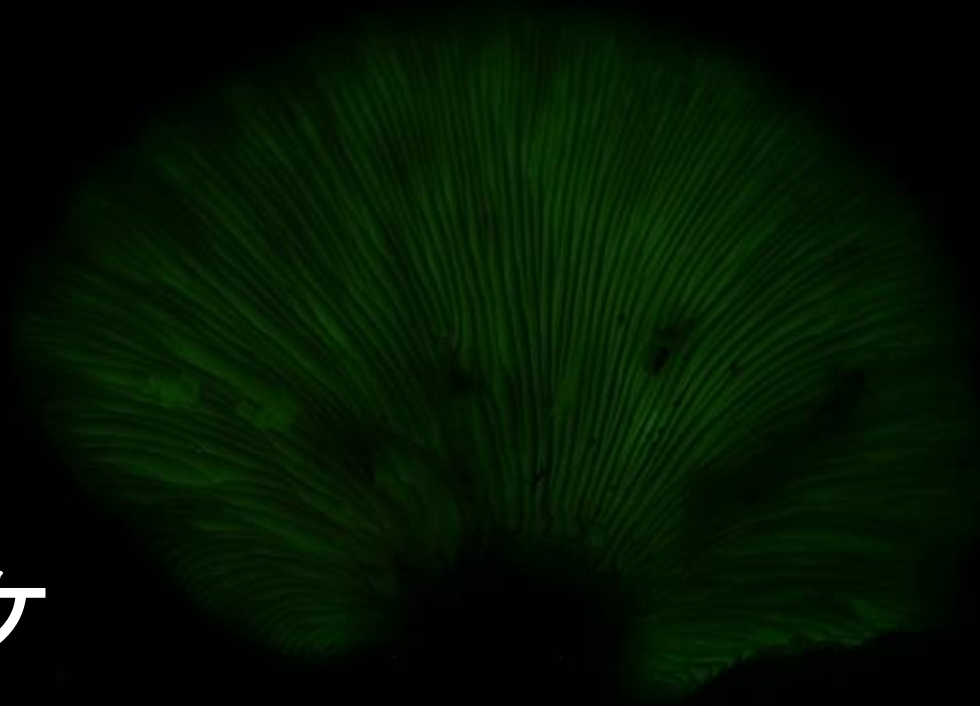
シイトモシビタケ
八丈島(鳩の灯)



エナシラツシタケ(発光)



ツキヨタケ



毒きのこ

- テングタケ属の毒きのこ 嘔吐・下痢・腹痛・
肝臓腎臓の機能障害・**死亡事例**もある
- ツキヨタケ 嘔吐・下痢・腹痛
- クサウラベニタケの仲間 嘔吐・下痢
- ドクササコ 指先の疼痛・発赤
- オオシロカラカサタケ 嘔吐・下痢
- ニガクリタケ 腹痛・嘔吐・下痢・**死亡事例**
- ヒカゲシビレタケ 幻覚(**麻薬として規制**
H.14.6.6))

毒きのこ



ベニテングタケ



タマゴタケ



ドクツルタケ



ドクツルタケ幼菌



タマゴテングタケ



テングタケ



フクロツルタケ



タマゴタケ幼菌



ニガクリタケ



カキシメジ



クサウラベニタケ



ツキヨタケ



ヒカゲシビレタケ



ドクササコ



ツキヨタケ発光



オオシロカラカサタケ

ドクヤマドリ



- 1983年長野県八ヶ岳シラビソ・ツガ林で未知のイグチ(*Boletus* sp.)を試食して4名が嘔吐・下痢の中毒症状を起こす。日本で初めてのイグチ類の中毒。

猛毒きのこ カエнтаケに注意！

日光大谷川公園内でカエнтаケが確認されています。

死亡事例のある猛毒きのこです。触っただけでも皮膚の炎症を起こすことがありますので、絶対にさわらず、食べないようにしてください。

こんな身近な場所でも見つかっています。切株やその周囲に生えています。

※見つけられた場合は、日光大谷川公園緑の相談所0288-23-0111（代）まで、連絡をお願いいたします。

- 1999年新潟県の旅館でロビーに置いてあったカエнтаケを試食して1名死亡し、猛毒きのこであることがわかった。未知の毒きのこはまだまだ可能性があります

冬虫夏草



オサムシタケ



ヤンマタケ

サナギタケ

壬生町で日本初発見の雷丸

日本で発見された雷丸 (*Myliitta lapidescens*)

小林 義雄

小林菌類研究所, 〒273 船橋市丸山町5丁目33-1.

日本菌学会会報

第27巻 第1号

目次

我が国産雷丸の子実体発見 (C).....	小林 義雄 1
<i>Bostrychia</i> 属菌に寄生する <i>Phellinus</i> 属の2新種.....	橋本 謙 11
日本産うぶこごけ類1新種科と2新種.....	岡田謙之助、宇野 幸司 17
日本産菌類目録 (20).....	上野 宗夫、野村 武郎 20
マツタテコノケ類新種 <i>Phanerochaete jidoyana</i> の菌形学的研究.....	松井 道治、安井 武郎 33
マツタテコノケに寄生する <i>Phellinus</i> 属菌の同定.....	岩波浩太郎、松 利一 44
我が国の産雷丸科に属すると思われる <i>Myliitta</i> 科および <i>Myliitta</i> 科菌類について 第2種 <i>Myliitta lapidescens</i> とその発見地について.....	小林 義雄 49
<i>Zylophragma jidoyana</i> の新種と其近縁種との菌形学的研究.....	八木 忠次 57
日本産 <i>Zylophragma</i> 属 (<i>Myliitta</i> 科) の新種および同種の新記録.....	Egon Breck 65
雷丸の同定および我が国の産雷丸の <i>Myliitta</i> 科と <i>Myliitta</i> 科との関係.....	小林 義雄、大田 大造 79
アミダノムシの寄生.....	大田 大造、小林 義雄 81
日本産菌類目録 (21).....	小林 義雄 85
雷 丸.....	小林 義雄 95
我が国で発見された <i>Myliitta</i> 科の2新種について.....	小林 義雄 96
雷 丸.....	小林 義雄 99
日本産 <i>Myliitta</i> 科について.....	小林 義雄 100
雷 丸.....	小林 義雄 100
日本で発見された雷丸 (<i>Myliitta lapidescens</i>).....	小林 義雄 100
発見地・採集 (20).....	小林 義雄 100
学名記事.....	1

日本菌学会発行

事務所：東京都文京区後援会2-4-24 学会センタービル・日本学会会館5階（〒112）

本菌に関する中国と我国の記録で知られている古文書は数冊ある。これらのうちで最も古いものは陶弘景 (A.D. 456–536) による本草経集註である。重修政和經史証類備用本草の14巻19頁 (A.D. 1249) にも本菌が紹介されている。降って李時珍による本草綱目 (A.D. 1590–1596) の37巻、木之4に別名として雷実、雷矢、竹苓があり、記事と図が載っている。

我国では深江輔仁が撰ぶところの本草和名の下巻4頁 (A.D. 1578) に本菌が載っている。別名に宇都枝と記されている。また増島蘭腕の菌史 (A.D. 1811) にも記されている。

今回発見された菌核は栃木県下都賀郡壬生町にある北研産業㈱の竹林地上で昭和60年9月に発生したものであり、同社研究員で日本菌学会会員の川嶋健市氏によって採集された。子実体は見られなかったとのことである。

なお発生現地では湿気を保たせて置き、子実体の発生を待っている。

Schroeter が *Omphalia* と同定した子実体をよく見ているかどうかについては、*Monsunia* の著者 Hennings と同様に、私も疑わしいと思っている。このためにも是非子実体が発生することを願っている。

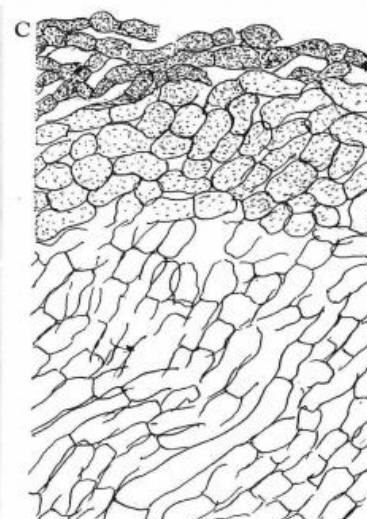
終りにこの珍しい菌を提供して下さった日本菌学会会員川嶋健市氏に御礼申し上げる。



壬生町の竹林で採取した雷丸



中国産雷丸



近年入手の中国産雷丸

伊沢正名
川嶋健市 共著



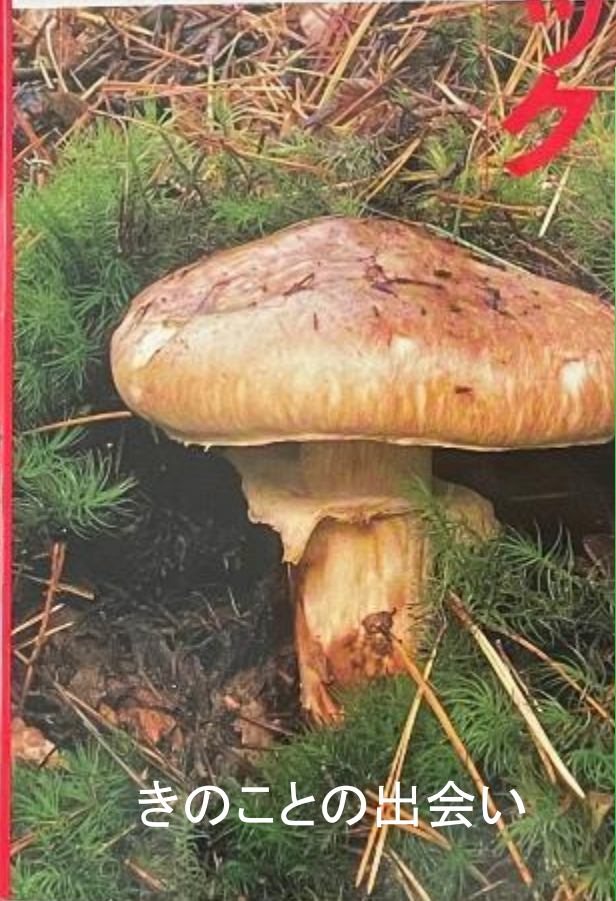
キノコ狩り ガイドブック

見分け方
採取場所と季節
グルメの料理法

カラー自然シリーズ⑥

茨城の きのこ

茨城新聞社編 監修/大谷吉雄
解説・写真/伊沢正名・内田正宏・
川嶋健市



きのこの出会い

GREEN & FLOWER BOOKS

見分け方と食べ方

きのこ入門

内田正宏・川嶋健市

主婦と生活社



きのこ狩り必携の書

秋の野山は味覚の宝庫。すがすがしい空気の下で賞味するきのこ料理はまた格別。本書を片手に毒きのこを正確に見分け、自然を満喫して下さい。かずかずのきのこ料理を紹介した巻末特集は必見です。

夢自然 **きのこ** 1

YUME-SHIZEN
山と溪谷社



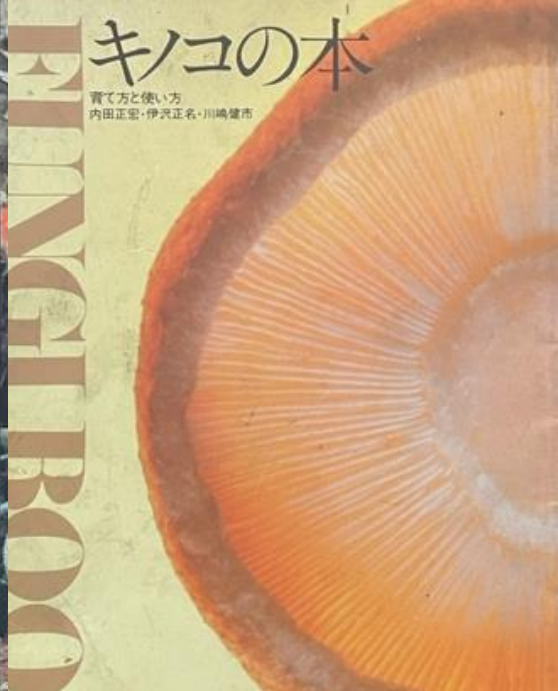
今、きのこの時代。

かわいいの、きれいな、不気味なの、恐ろしいの、と、さまざま。しかし、なくてはならないもの。さあ、みんなできのこに学ぼう。きのこを遊ぼう。



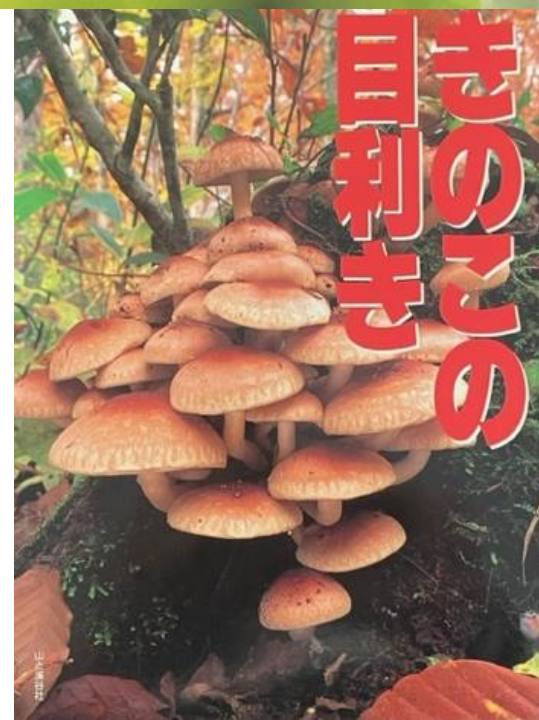
山溪カラー名鑑

日本のきのこ



キノコの本

育て方と使い方
内田正聖・伊沢正名・川嶋健市



きのこの
目利き

早わかり
見る・辨む・食べる
野草が10倍楽しくなる

食べられる山野草

12か月

野草

全国地域別・採取カレンダーつき

主婦と生活社

12食か月

ハブ・野菜・果物から
木の実・きのこまで

園芸

主婦と生活社

北研・きのこの資料室紹介

素晴らしい きのこの世界へようこそ！



きのこ曼荼羅

きのこの図鑑・書籍・雑誌 1,200冊余



きのこグッズ





世界のきのこ切手



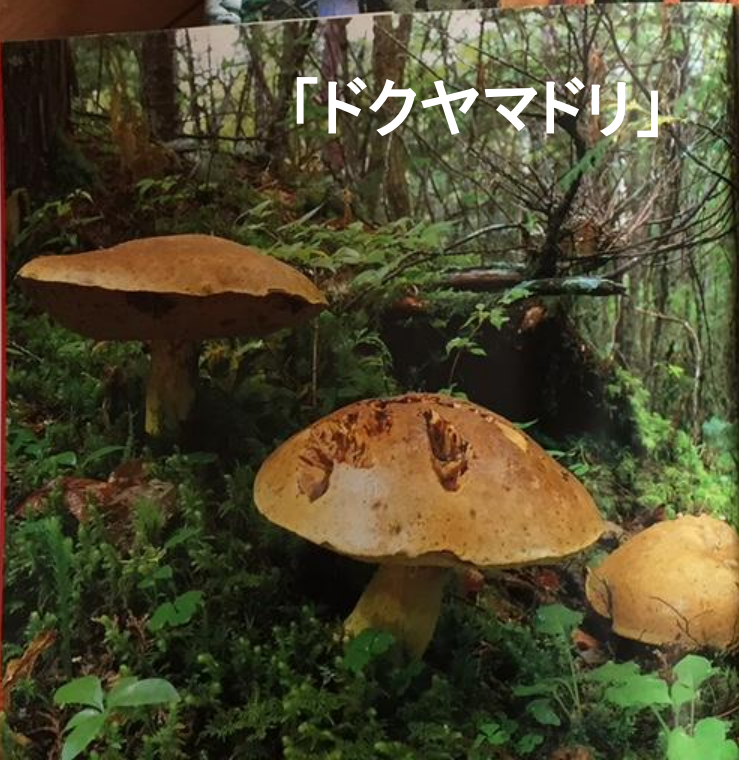


ご清聴ありがとうございました

「日本のきのこ」
出版まで



「ドクヤマドリ」



ドクヤマドリ
Boletus sp.

傘は径10-20(25)cm、半球形からまんじゅう形となり、幼時縁部は内側に巻く。表面は淡黄褐色でややビロード状の感触があり、粘りはない。管孔は上生し、幼時鮮黄色のち黄褐色から汚黄褐色となる。孔は小さく管孔と同色。柄は12-20cm×30-40cm、下部に向かって太まり、表面は幼時ほとんど白色で基部は黄褐色のち汚黄褐色-淡黄褐色となり、赤褐色点状のしみができる。肉は黄色、傷つくとゆるやかに強く青変する。胞子は13-16×4.5-5 μm、紡錘状長楕円形、8-9月、奥高山帯針葉樹林(シラビソ・コメツなど)内の地上に発生。毒、今のところ長野県下(八ヶ岳)、北海道で知られている。同じく長野県下にタハイグチという毒きのこがあり、同一種かもしれない。

323
イグチ科 Boletaceae



●● 外国ではイグチの仲間にも毒性のあるものが知られている。しかし日本には毒イグチがないといわれてきた。そのため、写真のがつしりとしたみからにうまそうな大形のイグチをみつけたときには、皆で小籠りして喜んだ。さっそく5-6本採取し、そのうちの1本、それも柄だけをスライスして豚肉の上でつけ焼きにして5人で試食した。4-5時間後、腹部に強い不快感を抱き、やがて下痢、嘔吐が数時間続いたあと、少しずつ快方に向かった。少量だったので助かったのかもしれない。過去に中毒例がないから、といって、このきのこのなら安全などという

羊皮紙に描かれた「ドクベニタケ」



Russula emetica

小林路子画



「ちたけざし」にチチタケを刺して歩く猫

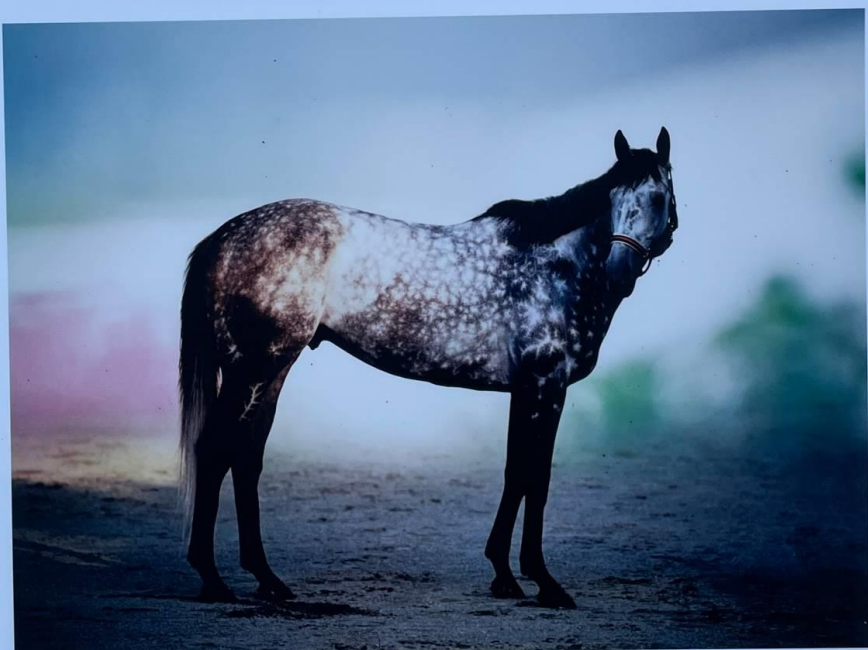
2023
11月16日 木
2024
1月8日 月・祝
11月20日 日、
12月4日 日、
12月18日 日、
12月21日 木
↓2024年1月3日 水

う い
つ の
す も

小林路子
辻永
内山春雄
今井壽恵
富田美穂
阿部知暁

を

菌類
植物
動物
人間



上右-内山春雄 (オンダマ) 画の作家展 | 上中-小林路子 (マリアタカマツ) 画の作家展 | 上左-富田美穂 (MISU) 画の作家展 | 下-今井壽恵 (イマワイ) 画の作家展 | 左-阿部知暁 (アベチかほ) 画の作家展

様々な色のきのこ



いろいろな形のきのこ



ヒラタケ科・ヌメリガサ科・キシメジ科のきのこ

1. ヒラタケ科のきのこの多くは木屑上に生え、ヒラタケ・シイタケなど栽培されている種類もある。側生・偏心生が多く、中心生もある。



2. ヌメリガサ科のきのこはひだが多く、ロウ質。菌柄性、腐生性が多い。



3. キシメジ科のきのこの子実体の形態は多様。胞子殻は白色が多い。淡色を帯びるものもある。特殊の環境でないヒラタケ類のきのこがこの科にまとめられている感がある。



テングタケ科のきのこ

テングタケ科のきのこの特徴は、傘と柄が分離しやすい。つばやつばを持つものが多いが、ないものもある。この仲間の中には、毒きのこ一種毒きのこがあり、注意が必要なグループである。新木原では過去にシロタマゴテングタケによる中毒で死亡事例がある。タマゴテングタケは世界的に有名な猛毒きのこで、ヨーロッパでは小学校の給食に誤って使われ、29人が亡くなった事例がある。(写真はニュージーランドのもの)



ウラボニガサ科・ハラタケ科・ヒトヨタケ科・オキナタケ科・モエギタケ科・
フウセンタケ科・イッポンシメジ科・ベニタケ科のきのこ

1.ウラボニガサ科の胞子紋はピンク。
ヒュウモンウラボニガサは内臓型菌類の代表。赤糸



2.ハラタケ科のきのこは傘と柄が分離しやすい。胞子紋は黄・緑・紫褐色など様々。
ツクリタケは栽培され、「マッシュルーム」として知られている。



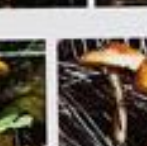
(ハラタケ科のつづき)



3.オキナタケ科の胞子紋は緑褐色・黒紫色など。



4.フウセンタケ科の胞子紋は褐色、またはほとんど白色



5.モエギタケ科のきのこは腐生性。胞子紋は紫黒色・紫褐色・褐色など



6.イッポンシメジ科の胞子紋は肉色で、胞子は多角形



7.ベニタケ科の菌類は球形状で、肉質はもろい。①上4種はベニタケ属



イグチ科・オニイグチ科・ヒダナシタケ類のきのこ

1.イグチ科の胞子きのこは肉質で、傘の裏(子実層)は管孔であることが多い、まれにひだがある。オニイグチ科の胞子は黒色・暗褐色など。



植栽されたナルコユリを宿主とする日本新産種 *Stromatinia rapulum* (キンカクキン科)

中井 実^{1*}, 大前 宗之², 折原 貴道³

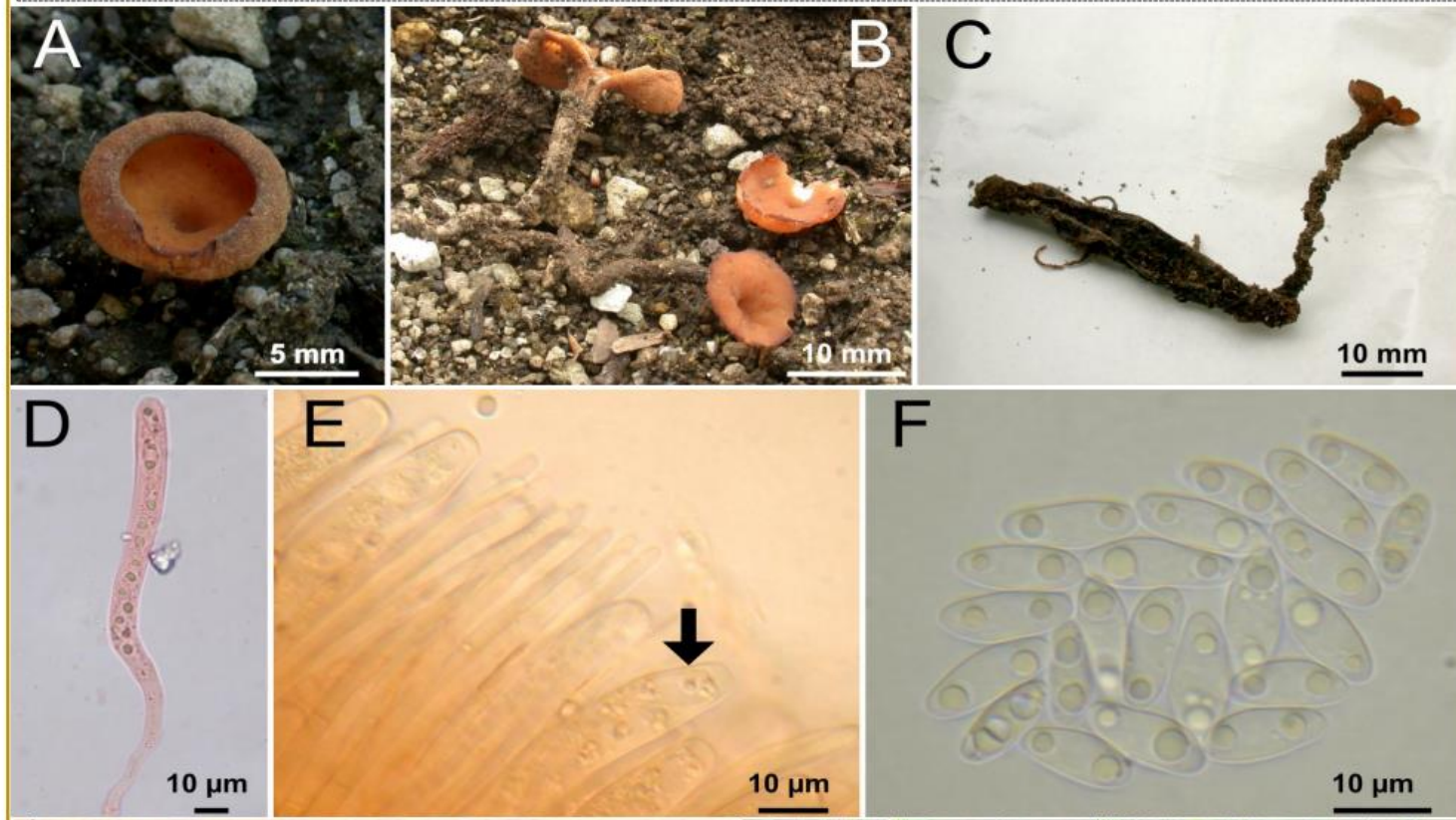
1 〒063-0031 北海道札幌市西区西野 1-7-5-12

2 株式会社北研, 〒321-0222 栃木県下都賀郡壬生町駅東町 7-3

3 神奈川県立生命の星・地球博物館, 〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499

摘 要

北海道において、植栽されたナルコユリ（アマドコロ属）の根茎から発生した子嚢果について形態的な検討を行った結果、*Stromatinia rapulum* と同定した。本種はヨーロッパではアマドコロ属を宿主とするが、日本では従来ツルドクダミが宿主とされ、日本産標本の菌と宿主の種同定には疑問の余地があった。本報告は、*Stromatinia rapulum*の日本で初めての確かな採集記録であり、新



ナルコユリチャワンタケ

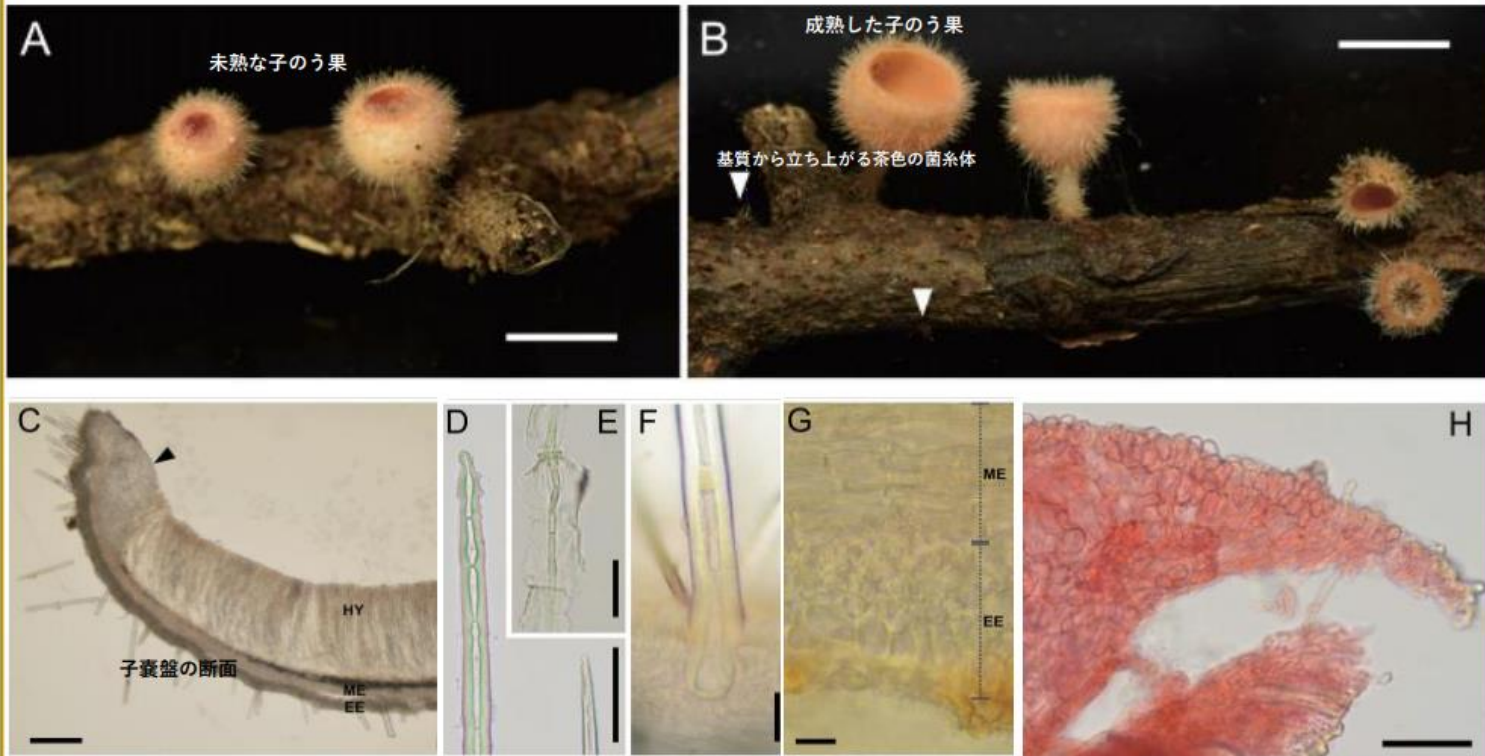
チャワンタケ目ベニチャワンタケ科のきのこの国内初記録

大前 宗之1) *・山本 航平2)・折原 貴道3)

- 1) 株式会社北研, 〒 321-0222 栃木県下都賀郡壬生町駅東町 7-3
- 2) 栃木県立博物館, 〒 320-0865 栃木県宇都宮市睦町 2-2
- 3) 神奈川県立生命の星・地球博物館, 〒 250-0031 神奈川県小田原市入生田 499

摘要

茨城県の照葉樹林より、日本新産種 *Microstoma apiculosporum* (新称: テンガイキツネノサカズキ) を報告した。本種は胞子の両端に半球状の突起を有するという、本属菌の中で特異な形態により特徴づけられ、これまで基準産地である台湾中部にのみ分布が確認されていた。本報では、生体分類法や化学反応に基づき、従来報告されていない特徴を含んだ本種の形態について記載した



テンガイキツネノサカズキ

マツ林のきのこ



シモコシ



キシメジ



オウギタケ



マツタケ



ホンシメジ



アカハツ



ハツタケ



クロカワ



アミタケ



チチアワタケ



ショウゲンジ



ショウロ

雑木林のきのこ



チチタケ



シャカシメジ



クリタケ



サクラシメジ



カラカサタケ



タマゴタケ



クリフウセンタケ



コウタケ



ハナビラニカワタケ



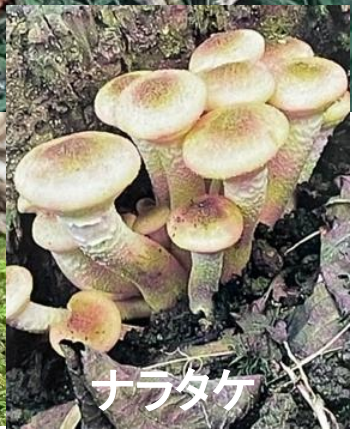
コホウキタケ



ナラタケモドキ



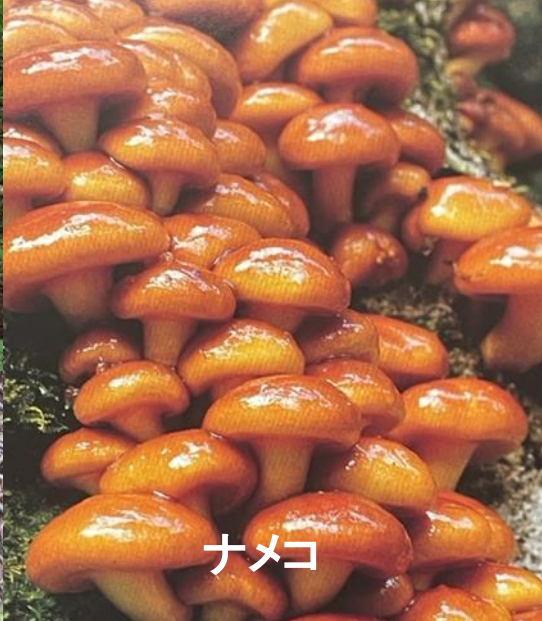
クロラッパタケ



ナラタケ



マイタケ



ナメコ

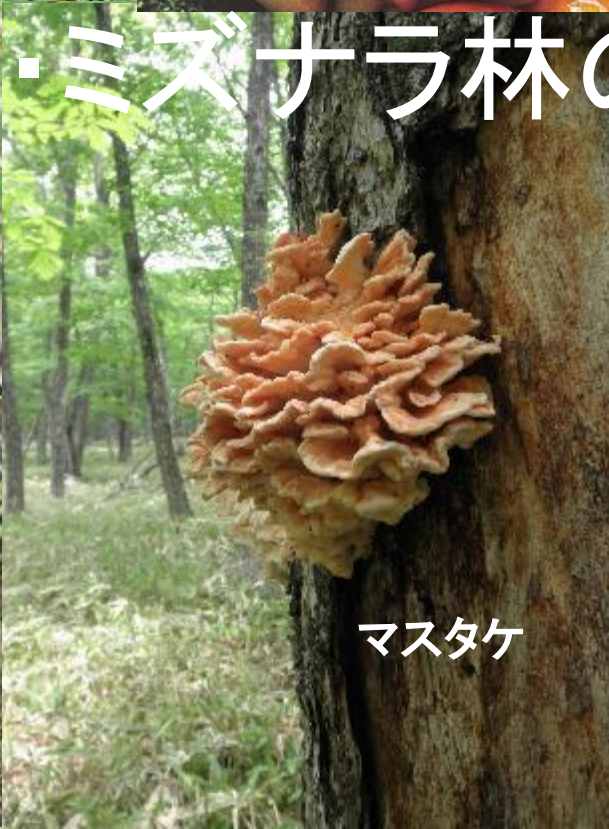


ヤマブシタケ

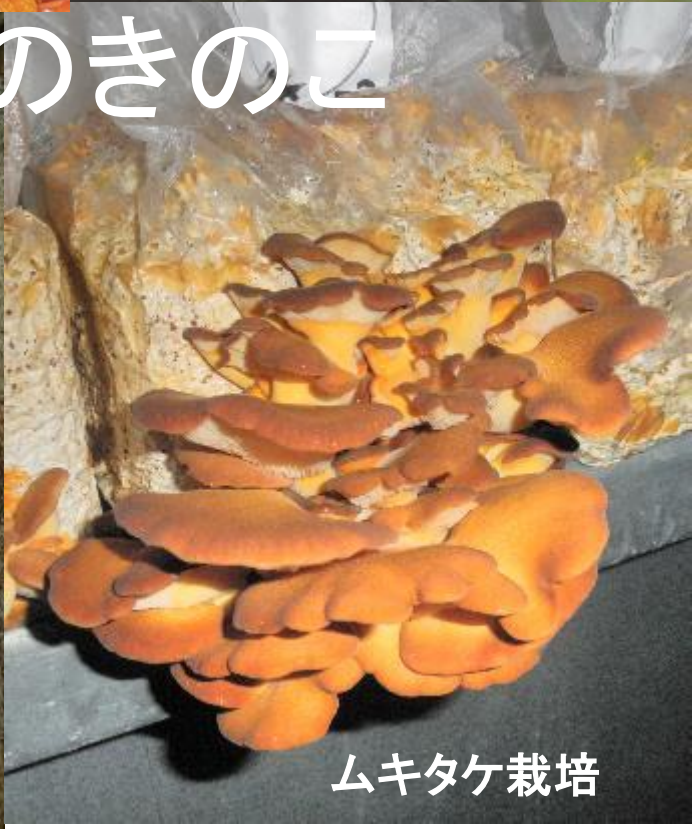
ブナ・ミズナラ林のきのこ



ツエタケ



マスタケ



ムキタケ栽培



シロナムツムタケ



ヌメリスギタケモドキ



ムキタケ



ブナハリタケ



チャナムツムタケ



マイタケ栽培



ブナシメジ



カノシタ



キノナムツムタケ

ヤマイグチ



ハナイグチ



カバノアナタケ



オトメノカサ



ツガノマンネンタケ



キヌメリガサ



アカモミタケ



オオモミタケ



マツタケ



ミヤママスタケ



カラマツ・モミ林・ツガ林

人家付近のきのこ



エノキタケ



オニフスベ



ニオウシメジ



ハタケシメジ



ハルシメジ



コガネタケ



キヌガサタケ



オオイチョウタケ



コムラサキシメジ



ササクレヒトヨタケ



アミガサタケ

写真提供: 萩原基維氏



シロトリフ(野木町)



アジアクロセイヨウショウロ

